

岐阜県郡上地域

重点プロジェクト(2)木材生産拡大・再造林対策

木材生産現場の見える化と製材工場とのつながる化

～郡上地域森林・林業サプライチェーンマネジメントシステム(川上～川中)～

現状と課題

郡上地域から地域内製材工場への木材供給量は約4割と低く、木材の安定供給が十分にできていない。また、地域内の大型製材工場である長良川木材事業協同組合が年間木材消費量を 50,500 m³(H30)から 100,000 m³まで増加させることを目標としており、高まる木材需要に安定的に対応できる木材生産体制や供給体制の構築に取り組む必要があった。

取組概要

郡上地域で生産された木材を取りまとめている森林組合と長良川木材事業協同組合との間のシステム販売について、需要の増大に対応するべく、毎日の木材生産状況を把握するシステムをR3年度に導入するとともに、木材輸送や納材数量を管理するシステムをR4年度に導入し、業務の効率化や需給情報等の共有を図った。
また、森林組合が運営する木材市場から地域内の小規模製材工場への木材供給の安定化を図るため、木材需給に関する協定を締結し、木材市場と小規模製材工場との需給情報の共有を図る。

取組の成果・効果

木材生産状況を把握するシステムを導入したことにより、木材生産現場の見える化が進んだ。また、木材輸送や納材数量を管理するシステムの導入により、輸送や納材計画、管理に係る業務が軽減されるとともに、森林組合、運送会社、大型製材工場間で随時、情報が共有され、つながる化が進む見込み。
木材市場と小規模製材工場が木材需給協定を締結することにより、小規模な木材取引ではあるが、需給情報が共有され、木材供給の安定化、つながる化が進む見込み。

取組が進んだ要因

川上、川中、川下が連携、参画した中立的機関である郡上森林マネジメント協議会を設立し、当協議会を核としてサプライチェーンマネジメントシステム(SCMS)を実現するべく、森林組合や製材工場等の関係者、県、市との協議体制を整備し取り組みを進めた。

これから取組む地域へのアドバイス

当事者による検討等が十分に進まない場合や当事者間の調整が困難な場合、中立的組織による検討や調整により解決を目指す方法も有効であるが、中立的組織職員の経験や能力に依るところも大きいので留意が必要。

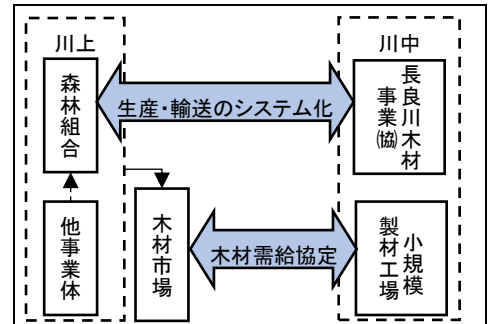


図1 SCMS概要

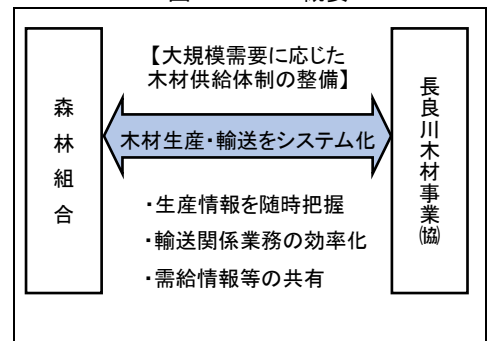


図2 大規模製材工場との取組

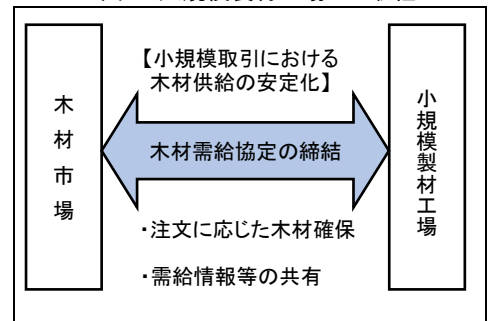


図3 小規模製材工場との取組

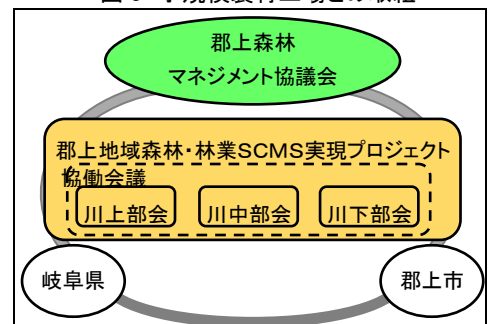


図4 取組の推進体制

【担当】

団体部署名 郡上市 ご担当者名 瀧澤嘉男

【連絡先】

メール: yo.takizawa@city.gujo.lg.jp

電話: 0575-67-2121

URL: <https://www.city.gujo.gifu.jp/>